

保 証

- ・本機は、厳重な品質管理と検査工程を経てつくられた製品です。タンクの耐圧試験圧力は0.9MPaで実施しております。
- ・本機は天災および取扱上の不注意による損傷を除いて、納入後一年間保証されその期間内における故障は無料で修理いたします。

修 理

- ・本製品の修理は下記発売元または販売店へご依頼ください。
- ・修理品を送付の際は異常内容を詳しく記載してください。

この製品についてのお問い合わせは

発売元



アイ・エイ・シー 株式会社

〒225-0014 神奈川県横浜市青葉区荏田西1-1-10
TEL:045-914-7877 FAX:045-913-7878
URL1 : <http://www.iac-ne.co.jp>
URL2 : <http://www007.upp.so-net.ne.jp/iac>
E-mail : imai@iac-ne.co.jp

製造元

株式会社八重崎空圧

低騒音・オイルレス ハンディーコンプレッサー

HC-3

取 扱 説 明 書



納入日から1ヶ年間を保証期間といたします。

ただし、次の場合は保証から除外されます。

- (1) 経時変化あるいは使用損耗により発生する不具合（塗装・メッキ等の自然退色、消耗部品の劣化など）
- (2) 本製品の品質、機能に影響のない軽微な感覚的現象
- (3) 地震・台風・水害・落雷などの天災または事故、火災など
- (4) 弊社または弊社の代理店によって認められていない改造など
- (5) 純正部品以外の使用
- (6) 保守点検上の不備または間違い
- (7) 指定代理店以外による整備
- (8) この製品のご使用中に発生した故障に起因する種々の出費、その他二次的損害の補償

※ご使用中万一故障した場合には、弊社または販売店へお申し出ください。
※本装置の保証は日本国内で使用する場合に限りです。

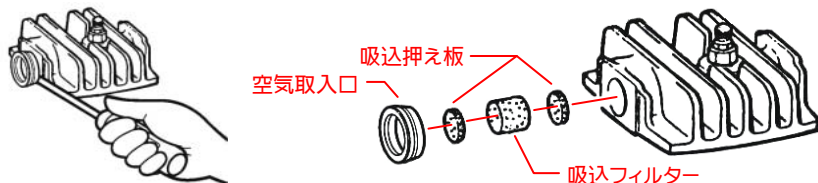


アイ・エイ・シー 株式会社

故障の原因とその処置

	故障の種類	原因	処置
起動する	最高圧力まであがらない 又は時間がかかる	テフロンバルブの破損、又は作動不良	販売店に相談
		シール不良	販売店に相談
		ネジ部又は配管部のゆるみ	締めなおす
		ピストンリングの摩耗、作動不良	販売店に相談
		吸込口フィルターの汚れ、詰り	清掃または新品と交換
		逆止弁の固着、詰り、故障	清掃または新品と交換
	最高使用圧力以上に上がる	圧力スイッチ及び安全弁の 作動圧力の不良	販売店に相談
	異常音がする	各部分のネジのゆるみ	締めなおす
		ピストン上部がバルブ板に当たる	販売店に相談
		モーター及びロットベアリングの ベアリング部分のゆるみ	販売店に相談
起動しない	音がしない	電圧の低下	電気工事に相談
		コンプレッサーの異常	販売店に相談
		モーター焼損装置が作動	リセットボタンを押す
	電動機がうなる	断線又は接続不良	配線部点検
		電動機の故障	販売店に相談
		電圧の低下	電気工事に相談
		コンプレッサーの異常	販売店に相談
		電動機の異常	販売店に相談

- ・使用時間（250時間）を目安に吸込フィルターの点検を行い、汚れている場合には新品と交換してください（下図を参照してください）。



- ①（－）ドライバーなどを差し込んで空気取入口を外します。
- ②吸込フィルターを取り出して新しいものと交換します。
- ③交換したら組み立ててください。空気取入口は軽くたたいてください。

弊社からのお願い

- ・取扱説明書は、運転および保守点検をする方の近くに必ず保管しておいてください。なお、製品の保証については、最終ページを参照してください。
- ・取扱説明書や製品に貼られている注意銘板の内容をよく読み、据え付けや運転や保守点検を実施してください。
- ・据え付け・運転・保守点検の前に取扱説明書をよく読んで、注意事項や操作、取扱方法などの指示に従って正しくご使用ください。
- ・この取扱説明書に記載してある事項を守り、ご使用ください。また、定期的な保守点検を行なってください。
- ・取扱説明書に記載されていない使用方法や純正部品以外の使用や改造は行わないでください。
- ・取扱説明書に関する不明点は、弊社もしくは取扱店までお問合わせください。
- ・取扱説明書に記載してある内容については、改良などの理由で予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
- ・故障などが発生した場合や交換部品が必要な際、弊社または取扱店までご連絡ください。その際には、お客様のご連絡先、型式や製造番号などの製品情報、具体的な不具合内容をご連絡ください。
- ・弊社の製品は日本国内専用です。海外では使用しないでください。

安全上のご注意

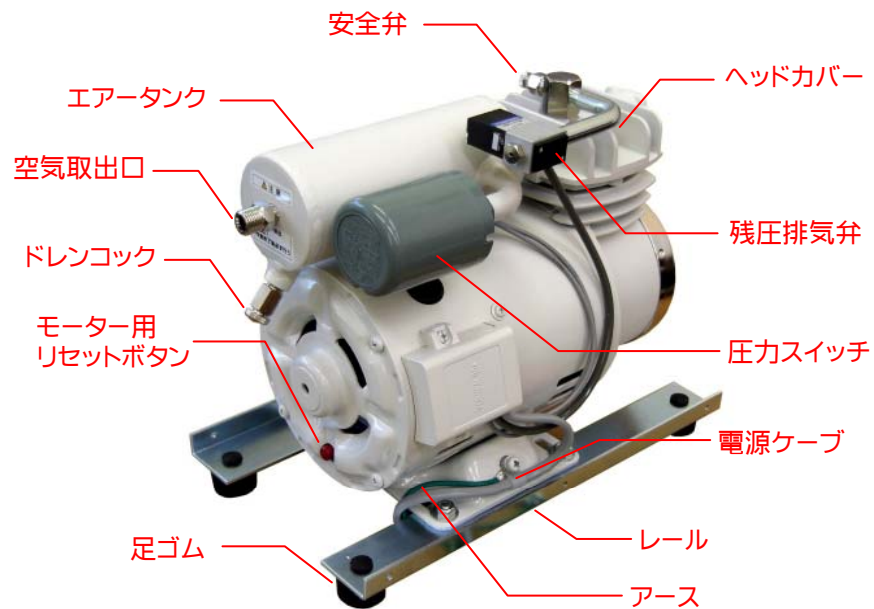
使用方法を誤ると発火事故や感電事故などの恐れがあります。据え付け・運転・保守点検の前に取扱説明書をよく読んで、注意事項や操作、取扱方法などの指示に従って正しくご使用ください。
指示事項は危険度、障害度により「警告」、「注意」に区分けしてあります。

警告 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

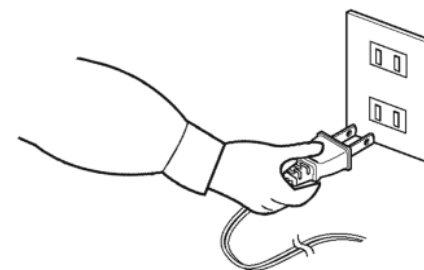
禁止 この記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中に具体的な禁止内容が描かれています。

部品名称一覧（製品外観）

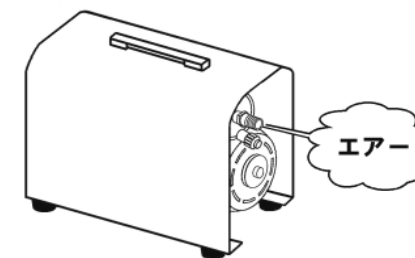


保守点検について

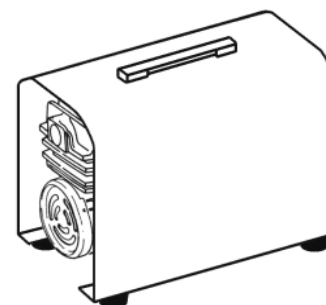
⚠ 警告



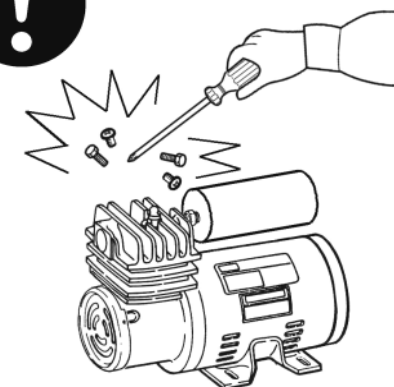
・保守・点検の際は、必ず元電源を切ってください。
(ショート、発火、感電事故などにつながります)



・保守・点検の際は、タンクや配管の中のエアを抜いてください。
(エアの吹き出しなどによる事故につながります)



・純正部品以外は、絶対に使用しないでください。交換部品が必要な際は、弊社または取扱店へご連絡ください。



・製品の改造や部品の改造は絶対にしないでください。
(思わぬ事故につながります)

保守点検について



警告

- ・保守・点検の際は、必ず元電源を切り、空気タンクの圧縮空気を完全に抜いてから行なってください。
- ・純正部品以外の部品は、使用しないでください。交換部品が必要な際は、弊社または取扱店へご連絡ください。
- ・製品の改造や部品の改造は絶対にしないでください。

保守点検について

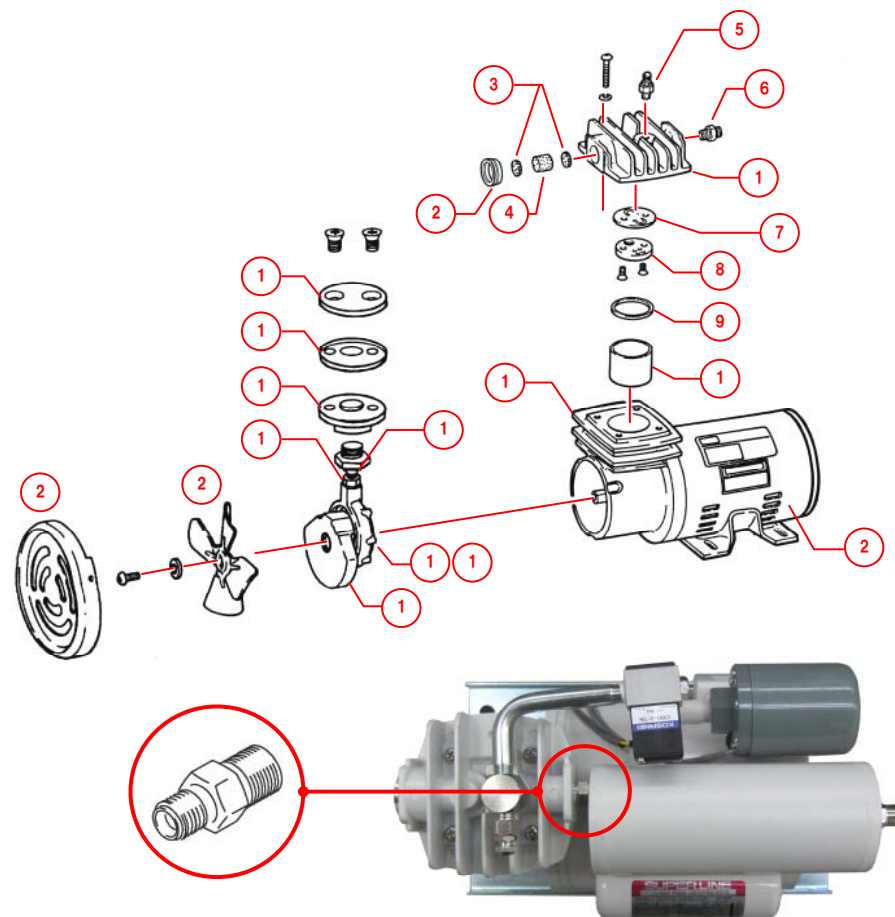


注意

- ・長期間使用しない場合は、エアータンク内のドレンを完全に抜き取り、元電源を切ってください。
- ・保管する際は、高温多湿の場所を避けてください。
- ・吸込口フィルター③④部分にホコリやゴミが詰まると、空気の吸い込みが悪くなり、圧力の上がりが遅くなりますので、月に一度くらいはホコリを落としてください。汚れがひどい場合には、新品と交換してください。
- ・圧力が上がらなかつたり時間がかかる場合には、テフロンバルブ⑦、ピストンリング⑩などを新品と交換することが必要となります。なお、シリンダーパッキン⑨も一緒に交換が必要となります。
- ・圧力が上がらなかつたり時間がかかる場合には、ゴムホースの亀裂や破損などが考えられますので、交換が必要となります。
- ・空気取出口のストップバルブおよびタンクドレンコックを閉めてもなおタンク内の空気が漏れる場合には逆止弁の修理や交換が必要な場合があります。
- ・停止時に逆止弁の残圧排気バルブからエアーが漏れている場合は、逆止弁本体に原因がある場合が多いです。むやみに残圧排気バルブの分解はしないでください。中の細かい部品が欠落して再組み立て不可能となります（HC-3）。
- ・モーター焼損保護装置が連続して作動する場合（リセットボタンを何度も続けて押すような場合）には、コンプレッサー運転部分に何らかの故障がありますので分解点検の必要があります。
（スイッチ付きブレーカーが付いている機種で、頻繁にブレーカーがOFFになる場合も同様です）
- ・圧力スイッチの作動不良の場合の安全装置として、安全弁を設けてあります。仕様の最高圧力より約0.2MPa上昇すると作動します。
- ・17ページの故障の原因とその処置も参照してください。

部品名称一覧（ヘッド内部）

1.ヘッドカバー	7.テフロンバルブ	13.ピストンリング	19.エキセン
2.空気取入口	8.バルブ板	14.ピストン	20.冷却ファン
3.吸込押え板	9.シリンダーパッキン	15.ロット	21.ケースカバー
4.吸込フィルター	10.シリンダーライナー	16.ロットナット	22.モーター
5.安全弁	11.ケース	17.ロットリング	
6.逆止弁	12.ピストンリング押え	18.ロットベアリング	



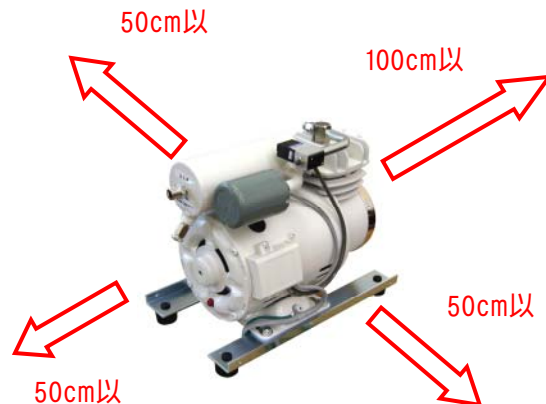
注意：ヘッドカバーとエアータンクのジョイントは、単なるニップルではなく逆止弁ですので、取り外さないでください。

仕 様

項 目		HC-3
電動機	電圧(V)	AC100
	出力(W)	200
	電流(A)	5.5/4.8(50/60Hz)
	定格	連続運転
空気吐出量	NL/min	10/11(50/60Hz)
空気タンク容積	L	0.4
自動圧力スイッチ	MPa ON×OFF	0.5×0.65
騒音レベル	Aスケール(dB)	54
外形寸法	長×幅×高(mm)	175×280×245
質量	kg	10.0

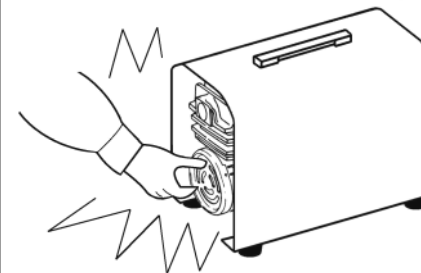
据え付けスペースの確認

・据え付けを行なう際は
メンテナンスや吸気
／
排気を考慮して、下

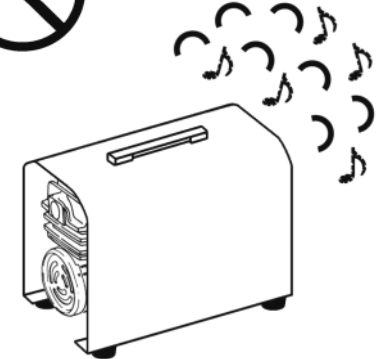


運転について

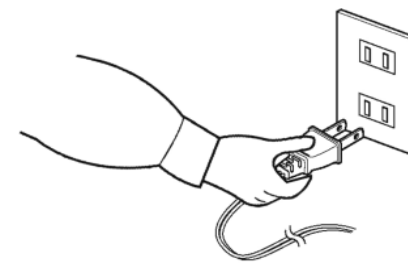
⚠ 警告



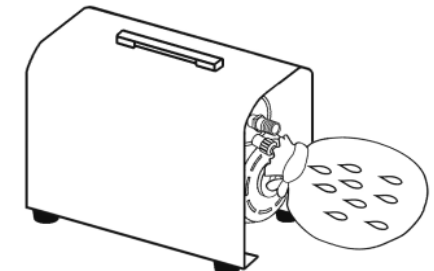
・ケースカバーの中や稼動部分等へ
指などを入れないでください。
(思わぬケガにつながります)



・異音がしている場合は使用を中止
して、弊社または販売店へご連絡
ください。
(思わぬ事故につながります)



・一日の作業が終了したら、元電源
を切ってください。
(無人時に作動したりして、思わぬ
事故につながります)



・タンクドレンの排出は、作業終了
後(毎日)必ず行なってください。
(作動不良やモーター焼損など思わ
ぬ事故につながります)

運転について

警告



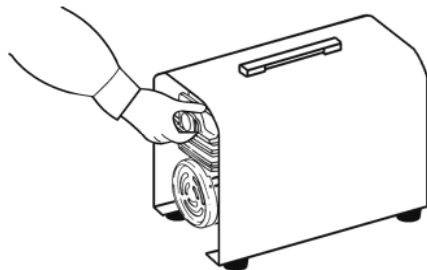
・圧縮空気やドレン水を顔に向けて排出しないでください。
(思わぬケガにつながります)



・本体やタンクに破損や亀裂、変形がある場合には使用しないでください。
(思わぬ事故につながります)



・作業関係者以外（特にお子様）は近づけないでください。
(思わぬケガにつながります)



・ヘッドカバーやモーターフレームは高温になるので手を触れないでください。
(やけどやケガにつながります)

現品の確認

- ・銘板の型式を見て、ご注文の製品とあっているかどうかを確認してください。
- ・輸送中に破損や変形がないかどうかを確認してください。



銘板の確認



破損や変形が

装置の概要

- 1) エアの取出口に正しく配管してください。出荷時はG 1 / 4 B のオネジを付けています。これを外すとR c 1 / 8 のメネジになります。お客様で状況に合わせた継手を準備して接続してください。正しく配管されない場合はエア漏れの原因となります。
- 2) 電源プラグをコンセントに差し込むと、モーターが回転します。タンク内圧力が圧力スイッチの作動範囲まで下降していない場合は、電源を入れても作動しません。
- 3) 電源が入ってモーターが回転し、タンクにエアを蓄圧します。タンク内部（400cc）にエアが充満すると自動的にモーターが停止をします。
※H C - 3 の場合：0.65 MP a で停止をします。
- 4) エアが使用可能となります。
- 5) エアを使用しているとタンク内部のエア圧力が下がっていき、自動的にモーターが回転し、蓄圧を始めます。
※H C - 3 の場合：0.50 MP a で再起動をします。
※連続でエアを使用している場合は、圧力が下がり、コンプレッサーは連続運転になりますが、問題はありません。

据え付けについて



警告

- ・爆発性ガス、可燃性ガス、火薬類などの雰囲気中では使用しないでください。
- ・アンモニア、酸類、塩分、オゾンガスなど腐食性ガスの雰囲気中では使用しないでください。
- ・必ず、接地（アース）工事を行なってください。ガス管には絶対に接地しないでください。
- ・雨や蒸気など水分のかかる場所や湿度の高い場所では使用しないでください。
- ・0℃以下、40℃以上の周囲温度では使用しないでください。
- ・箱などに入れて、密閉状態で使用しないでください。
- ・電源コードに傷をつけたり、破損させたり、加工をしたりしないでください。
- ・電源コードやプラグが傷んでいる場合には使用しないでください。

据え付けについて



注意

- ・元電源がご使用される製品の電圧と合っているかどうかを確認してください。
- ・元電源は、規定以上の容量としてください。
- ・日本国内専用です。
- ・ゴミやホコリの多い場所での使用はしないでください。
- ・濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- ・使用する場所はいつもきれいに、十分に明るくしてください。
- ・高いところに設置する際には、落下しないように固定するなどの対策をとってください。また、横倒しはしないでください。
- ・電源プラグを抜き差しするときは電源コードを持たず、必ず先端の電源プラグを持ってから抜き差ししてください。
- ・エアータンクに強い力や衝撃を加えないでください。
- ・延長コードの接続をできるだけ避け、直接元電源に接続してください。
- ・延長コードを使用する場合は、他の機器との併用は避けてください。
- ・配管は確実に接続してください。
- ・コンプレッサーの上には物を置かないでください。

運転について



警告

- ・圧縮空気およびドレンには、大気中の水分などが含まれています。圧縮空気やドレンを顔に向けて排出しないでください。
- ・落としたりぶつかったりした際は、本体やタンクに破損や亀裂、変形がないことを確認してください。異常がある場合にはそのまま使用せず、修理依頼をしてください。
- ・作業関係者以外（特にお子様）は近づけないでください。
- ・コンプレッサーのヘッドカバー部やモーターフレーム部は、高温になりますので手を触れないでください。
- ・ケースカバーの中や稼動部分等へ指などを入れないでください。
- ・異音がしている場合は使用を中止して、弊社または販売店へご連絡ください。
- ・一日の作業が終了したら、元電源を切ってください。
- ・タンクドレンの排出は、作業終了後（毎日）必ず行なってください。ドレンを排出する際に、ドレンコックを一気に開放するとドレンが飛散して周囲を汚してしまう可能性があります。ドレンを排出する際は、ウエス等でドレンコックを押えるようにして、徐々に開放していくとうまくドレンが抜けます。
- ・モーター内部に焼損保護装置（サーマルスイッチ）が設けてあります。モーターに過負荷がかかり、回転しない場合および過熱（モーターフレームの温度：115℃以上）の場合は、モーター内部に内蔵されたサーマルスイッチが作動してモーターの焼損を防止します。このような場合は、元電源を切ってモーターフレームの温度が40℃くらいに降下（30分経過）したらリセットボタン（赤色）を押して、元電源を入れて起動してください。

運転について

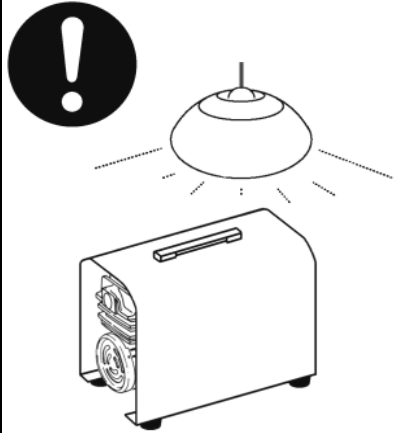


注意

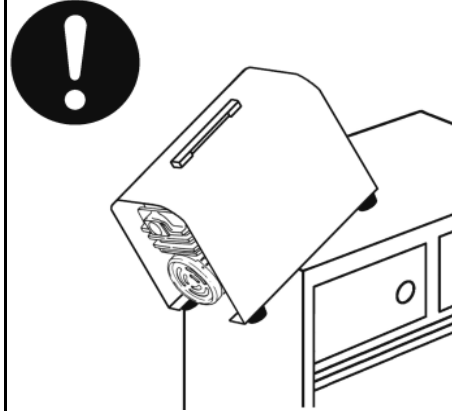
- ・規定電圧より高い状態や低い状態で使用した場合、性能の低下や故障の原因となりますので、適正な電源で使用してください。
- ・停電や落雷の恐れのある場合、必ず元電源を切ってください。
- ・タンク内の圧力が圧力スイッチの作動範囲まで下降していない場合は、電源を入れても作動しません。タンク内のエアを抜いていき、作動するかの確認をしてください。

据え付けについて

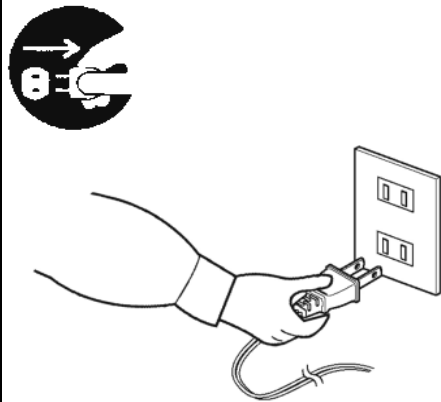
⚠ 注意



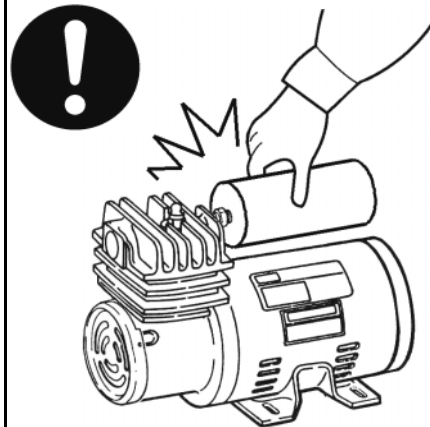
・使用する場所は、いつもきれいに十分に明るくしてください
(煩雑な場所や暗い場所は思わぬ事故につながります)



・高いところなどに設置する際には落下しないように固定するなどの対策をとってください。
(落下によるケガにつながります)



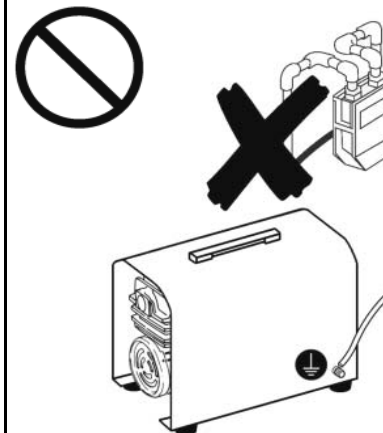
・電源プラグを抜き差しするときは電源コードを持たず、必ず先端の電源プラグを持ってから抜き差ししてください。



・エアータンクに強い力や衝撃を加えないでください。
(ヘッドとタンクの接続部の逆止弁が破損する可能性があります)

据え付けについて

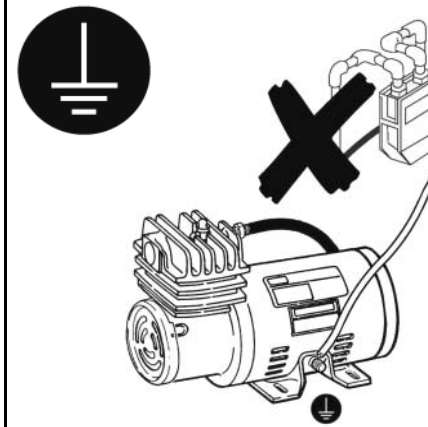
⚠ 警告



・爆発性ガス、可燃性ガス、火薬類などの雰囲気中では使用しないでください。
(火災や爆発事故につながります)



・酸類や塩分など腐食成分の雰囲気中では使用しないでください。
(タンクやホースが腐食して思わぬ事故につながります)



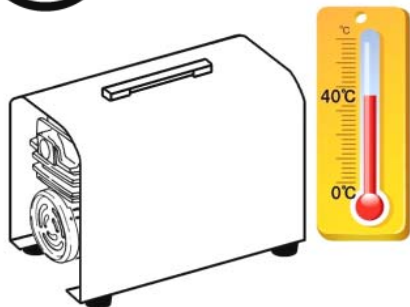
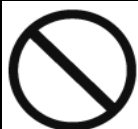
・使用する際は必ずアース線を接続してください。ガス管には絶対に接地しないでください。
(火災や爆発事故につながります)



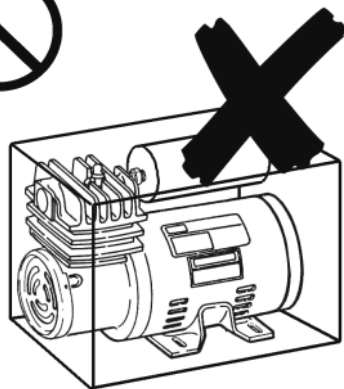
・水分や水蒸気がかかる場所や湿度の高い場所では使用しないでください。
(感電事故につながります)

据え付けについて

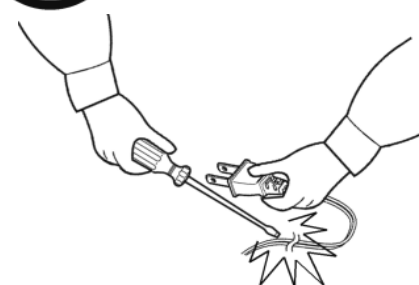
⚠ 警告



・ 0℃以下、40℃以上の周囲温度
では使用しないでください。
(寿命の低下や故障につながります)



・ 箱などに入れて、密閉状態で使用
しないでください。
(摺動部の過熱、ゴムホースの破損
につながります)



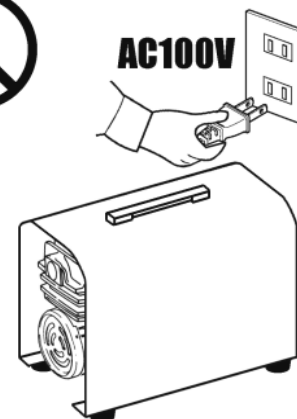
・ 電源コードに傷をつけたり、破損
させたり、加工をしたりしないで
ください。
(火災、感電事故につながります)



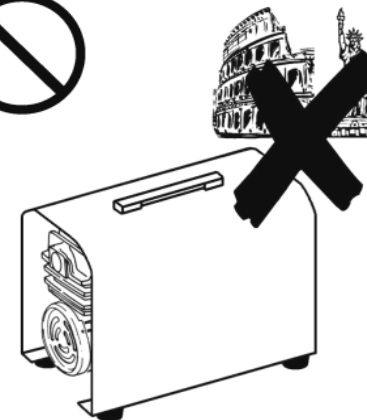
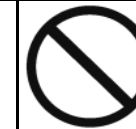
・ 電源コードやプラグが傷んでいる
場合には使用しないでください。
(ショート、発火、感電事故などに
つながります)

据え付けについて

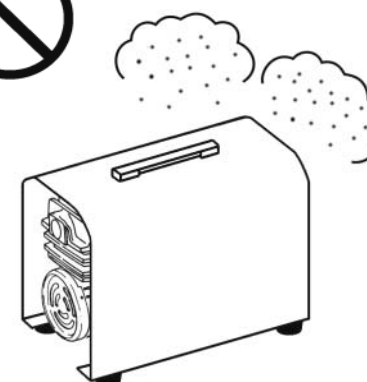
⚠ 注意



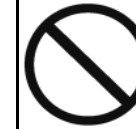
・ 元電源が製品の電圧と合っている
かを確認してください。
(ショート、発火、感電事故などに
つながります)



・ 交流100V以外での使用はしな
いでください。
(日本国内専用です)



・ ゴミやホコリが多い場所では使用
しないでください。
(摺動部の過熱、部品の異常磨耗に
つながります)



・ 濡れた手で電源プラグの抜き差し
をしないでください。
(感電事故につながります)